



4種類の脚を設定し、線の密度が濃いところほど長い脚が生えるように確率を打ち込んだ。確率に則りながらもランダムに生えた脚をrhinoへbakeし、そのまま机にした。接合は相欠き、材料はMDFの2mm厚と4mm厚の併用。題名の由来は、上の写真のようにひっくり返すと高層ビルそびえたつ大都市に見えるため。

(お詫びと追記)

rhinoとgrasshopperのデータをAMCのback upに入れていたらAMCが閉室してしまい、手元になかったためレポートに添付できませんでした。